

外 科 学 講 座

一般・消化器

著 書

- 1 宮崎耕治 (戸田剛太郎, 管野健太郎, 上西紀夫編): 胆嚢・胆管癌.
消化器疾患最新の治療. 2005-2006. pp407-410. 南江堂. 東京 2005.
- 2 宮崎耕治 (上西紀夫, 管野健太郎, 田中雅夫, 滝川 一編): 腹膜・後腹膜腫瘍.
講義録 消化器病学: pp631-633. メジカルビュー社. 東京 2005.
- 3 佐藤清治 (東口高志編): 2. 栄養アセスメント Q15: 血漿蛋白 (Tp & Alb) で何がわかるの? .
全科に必要な栄養管理 Q & A ⑧: pp32-33. 総合医学社. 東京 2005.
- 4 佐藤清治 (東口高志編): 第2部経腸栄養の実際②挿入経路とその管理. NST 完全ガイドー栄養療法
の基礎と実践: pp61-63. 照林社, 東京 2005.

学術論文

- 1 明石道昭, 大塚隆生, 森 大輔, 北原賢二, 松山 悟, 下西智徳, 中房祐司, 宮崎耕治: 嚢胞性膵
腫瘍の2例. 消化器画像 7 (3): 409-415, 2005.
- 2 *Bowen TJ, Yakushiji H, Montagna C, Jain S, Ried T, and Wynshaw-Boris A: Atm hetero-
zygosity cooperates with loss of Brcal to increase the severity of mammary gland cancer and
reduce ductal branching. Cancer Res. 65: 8736-8746, 2005.
- 3 *Erker L, Schubert R, Yakushiji H, Barlow C, Larson D, Mitchell JB, Wynshaw-Boris A.:
Cancer chemoprevention by the antioxidant tempol acts partially via the p53 tumor suppres-
sor. Hum. Mol. Genet. Vol. 14(12): 1699-1708, 2005.
- 4 *Fujiki H, Suganuma M, Matsuyama S, Miyazaki K: Cancer prevention with green tea
polyphenols for the general population and patients following cancer treatment. Current
Cancer Therapy Reviews 1: 109-114, 2005.
- 5 Hagiwara A, Kitajima Y, Sato S, Miyazaki K: Allelic loss of the DNA repair gene OGG1
against oxidative damage in esophageal squamous cell carcinoma. Oncol. Rep. 13: 1009-1016,
2005.
- 6 平木将紹, 大塚隆生, 北原賢二, 田村智章, 本山健太郎, 宮崎耕治: 輪状膵に伴う膵 intraductal
papillary mucinous tumor (IPMT) の1例. 日本臨床外科学会雑誌 66(4): 127-130, 2005.
- 7 *平木将紹, 薬師寺浩之, 明石道昭, 橋口和義, 原田貞美, 森 大輔, 徳永 藏: 致命的な経緯をた
どった, びまん性腸間膜脂肪織炎の一例. 武杵臨医誌 15: 36-39, 2005.
- 8 *平木将紹, 薬師寺浩之, 橋口和義, 原田貞美: 外来投与で TS-1/低用量 CPS-11 肝動注併用療法が
有用であった大腸癌多発肝転移の一例. 癌と化学療法 32(7): 1055-1058, July, 2005.
- 9 *平木将紹, 湯ノ谷誠二, 野口 亮, 篠崎由賀里, 谷 博樹, 酒井 正, 石光寿幸, 田淵正延: TS=
1/CDDP 併用療法が奏効した食道癌再発の一例. 癌と化学療法 32: 219-221, 2005.
- 10 *平木将紹, 田淵正延, 牧 孝将, 石光寿幸, 湯ノ谷誠二, 杉田保雄: 乳腺紡錘細胞癌の1例ー本邦
139例の集計および検討とともに. 外科 67: 1729-1732, 2005.
- 11 *廣橋喜美, 隅 健次, 松山 悟: 胃癌の肝転移症例に対し Low-dose FP 療法の維持療法として TS-

- 1+CDDP 動注療法を行い奏効した2例. MEDICAMENT NEWS 32: 85-88, 2005.
- 12 井手貴雄, 佐藤清治, 田中雅之, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: ネフローゼ症候群合併進行胃癌の1手術例. 日消外会誌 38: 490-495, 2005.
 - 13 *木戸伸一, 鮫島隆一郎, 篠崎由賀里, 樋高克彦: 当院におけるマムシ咬傷20例の検討. 武杵臨医誌 15: 2-6, 2005.
 - 14 Koga Y, Kitajima Y, Kohya N, Miyoshi A, Sato K, Hagiwara A, Kitahara K, Miyazaki K.: Tumor progression through epigenetic gene silencing of MGMT in human biliary tract cancers. *Ann. Surg. Oncol.* 12(5): 354-363, 2005.
 - 15 松山 悟, 中房祐司, 大塚隆生, 北原賢二, 下西智徳, 田中雅之, 宮崎耕治: 大腸癌肝転移の肝切除後再発の検討—残肝再発と肝外再発の危険因子について—. 癌の臨床 第51巻第8号: 621-626, 2005.
 - 16 宮崎耕治: 進展様式に基づいた胆嚢癌手術のこつと工夫. 日外会誌 106(4): 286-290, 2005.
 - 17 Miyoshi A, Kitajima Y, Kido S, Shimonisi T, Matsuyama S, Kitahara K, Miyazaki K: Snail accelerates cancer invasion by upregulating MMP expression and is associated with portal invasion and intrahepatic metastasis leading to poor prognosis of hepatocellular carcinoma. *Br. J. Cancer* 92: 252-258, 2005.
 - 18 °Mori D, Nakafusa Y, Miyazaki K, Tokunaga O: Differential expression of Janus kinase 3 (JAK3), matrix metalloproteinase 13(MMP13), heat shock protein 60(HSP60), and mouse double minute 2(MDM2) in human colorectal cancer progression using human cancer cDNA microarrays. *Pathol. Res. Pract.* 201: 777-789, 2005.
 - 19 中房祐司, 宮崎耕治: 消化管不全 外科治療 92(5): 1014-1019, 2005.
 - 20 大塚隆生, 北原賢二, 松山 悟, 下西智徳, 中房祐司, 宮崎耕治: 膵頭十二指腸切除術周術期管理における膵外分泌機能の意義. 胆膵の生理機能 21(1): 47-51, 2005.
 - 21 Sato K, Kitajima Y, Nakagawachi T, Soejima H, Miyoshi A, Koga Y, Miyazaki K.: Cisplatin represses transcriptional activity from the minimal promoter of the O⁶-methylguanine methyltransferase gene and increases sensitivity of human gallbladder cancer cells to 1-(4-amino-2-methyl-5-pyrimidinyl) methyl-3-(2-chloroethyl)-3-nitrosourea. *Oncol. Rep.* 13: 899-906, 2005.
 - 22 Sato K, Kitajima Y, Kohya N, Miyoshi A, Miyazaki K: Deficient MGMT and proficient hMLH1 expression renders gallbladder carcinoma cells sensitive to alkylating agent through G₂-M cell cycle arrest. *Int. J. Oncol.* 26: 1653-1661, 2005.
 - 23 Sato K, Kitajima Y, Koga Y, Miyazaki K: The Effect of O⁶-methylguanine-DNA Methyltransferase (MGMT) and Mismatch Repair Gene (hMLH1) Status on the Sensitivity to Alkylating Agent 1-(4-amino-2-methyl-5-pyrimidinyl) methyl-3-(2-chloroethyl)-3-nitrosourea (ACNU) in Gallbladder Carcinoma Cells. *Anticancer Res.* 25: 4021-4028, 2005.

学会発表

- 1 井手貴雄, 北島吉彦, 三好 篤, 宮崎耕治: 低酸素環境下における膵癌細胞と間質との相互作用. 第2回がんとハイポキシア研究会 2005. 3. 12-13. 抄録集: 要旨 3. 3.
- 2 井手貴雄, 北島吉彦, 三好 篤, 大高和真, 古賀靖大, 佐藤 建, 宮崎耕治: 低酸素環境下におけ

- る膀胱癌細胞と間質との相互作用. 第105回日本外科学会定期学術集会 2005. 5. 11-13. 日本外科学会雑誌 第106巻 臨時増刊号: 261.
- 3 井手貴雄, 北島吉彦, 三好 篤, 大高和真, 古賀靖大, 佐藤 建, 宮崎耕治: 低酸素環境下における膀胱癌細胞と間質細胞との相互作用. 第17回日本肝胆膵外科学会 2005. 6. 9-10. プログラム: 332.
 - 4 井手貴雄, 北島吉彦, 三好 篤, 宮崎耕治: 低酸素環境下における HGF-c-Met 系活性化を介した膀胱癌細胞の浸潤能亢進. 第64回日本癌学会学術総会 2005. 9. 14-16. 抄録集: 431.
 - 5 井手貴雄, 北島吉彦, 三好 篤, 光野真由美, 大塚隆生, 大高和真, 古賀靖大, 宮崎耕治: 低酸素環境下における腫瘍間質相互作用(HGF-c-Met 系活性化)を介した膀胱癌細胞の浸潤能亢進機序. 第16回日本消化器癌発生学会総会. 2005. 10. 13-14. プログラム・抄録集: 77.
 - 6 石井博修, 明石道昭, 下西智徳, 中房祐司, 宮崎耕治, 三浦由宏, 三砂範幸: 左臀部から下腹部に至る竹棒貫通による小腸穿孔の1例第41回日本腹部救急医学会総会 2005. 3. 10-11. 日本腹部救急医学会雑誌 Vol. 25. (2): 409.
 - 7 甲斐敬太, 下西智徳, 佐藤清治, 大塚隆生, 松山 悟, 濱本隆浩, 北原賢二, 中房祐司, 宮崎耕治: 当院における胃十二指腸潰瘍穿孔症例に対する保存的治療の検討. 第41回日本腹部救急医学会総会 2005. 3. 10-11. 日本腹部救急医学会雑誌 Vol. 25. (2): 264.
 - 8 北原賢二, 下西智徳, 松山 悟, 大塚隆生, 森 倫人, 宮崎耕治: ss, se, 胆嚢癌手術症例の検討. 第105回日本外科学会定期学術集会 2005. 5. 11-13. 日本外科学会雑誌 第106巻 臨時増刊号: 603.
 - 9 北島吉彦, 古賀靖大, 大高和真, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治. 早期胃癌における Runx3 遺伝子プロモーターのメチル化解析. 第91回日本消化器病学会総会 2005. 4. 14-16. 日本消化器病学会雑誌 第102巻 臨時増刊号: A204.
 - 10 Kitajima Y, Koga Y, Tanaka M, Sato S, Nakafusa Y, Miyazaki K: Methylation Analysis of RUNX-3 and E-Cadherin Gene in Early Gastric Cancer. 6th International Gastric Cancer Congress 2005. 5. 4-7. ABSTRACTS: 139.
 - 11 北島吉彦, 古賀靖大, 大高和真, 井手貴雄, 神谷尚彦, 宮崎耕治: 胃癌における血清中 DNA メチル化診断の試み. 第64回日本癌学会学術総会 2005. 9. 14-16. 抄録集: 255.
 - 12 古賀浩木, 湯ノ谷誠二, 末次彩子, 與田幸恵, 萩原 淳, 谷 博樹, 酒井 正, 石光寿幸, 田淵正延: 80歳以上高齢者に対する大腸癌手術症例の検討—80歳未満症例との比較検討—. 第60回日本消化器外科学会定期学術総会 2005. 7. 20-22. 日消外会誌 38巻7号: 512.
 - 13 古賀靖大, 北島吉彦, 大高和真, 佐藤 建, 三好 篤, 宮崎耕治: 胃, 肝, 胆道癌における血清中 DNA メチル化診断の試み. 第91回日本消化器病学会総会 2005. 4. 14-16. 日本消化器病学会雑誌 第102巻 臨時増刊号: A189.
 - 14 Koga Y, Kitajima Y, Sato K, Miyoshi A, Satoh S, Miyazaki K: The Significance of Aberrant CHFR Methylation for Clinical Response to Microtubule Inhibitors in Gastric Cancer. 6th International Gastric Cancer Congress 2005. 5. 4-7. ABSTRACTS: 128.
 - 15 古賀靖大, 北島吉彦, 大高和真, 三好 篤, 佐藤 建, 井手貴雄, 宮崎耕治. 肝, 胆道癌における血清中 DNA メチル化診断の試み. 第17回日本肝胆膵外科学会 2005. 6. 9-10. プログラム: 207.
 - 16 Kohya N, Sato K, Kitajima Y, Miyazaki K: The status of MGMT combined with mismatch-

- repair protein hMLH1 expression renders sensitivity to alkylating agents in gallbladder carcinoma cells. International Meeting on MGMT (MGMT2005) 2005. 8. 7.
- 17 松山 悟, 中房祐司, 北原賢二, 下西智徳, 大塚隆生, 宮崎耕治: 原発巣リンパ節転移は大腸癌肝転移の肝切後肝外再発の危険因子である. 第105回日本外科学会定期学術集会 2005. 5. 11-13. 日本外科学会雑誌 第106巻 臨時増刊号: 615.
 - 18 松山 悟, 佐藤清治, 下西智徳, 光野真由美, 甲斐敬太, 中房祐司, 宮崎耕治: 難治性瘻孔を無水エタノール ablation で閉鎖できた4症例の検討. 第67回日本臨床外科学会総会 2005. 11. 9-11. 日臨外会誌 第66巻 増刊号: 638.
 - 19 光野真由美, 田中雅之, 佐藤清治, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 食道類基底細胞扁平上皮癌の1例 第59回日本食道学会学術集会 2005. 6. 30-7. 1. プログラム・抄録集: 231.
 - 20 Miyazaki K, Koga Y, Kohya N, Kitajima Y: Biliary tract cancers progress through epigenetic silencing of MGMT followed by genetic and epigenetic instabilities in biliary tract cancers. International Meeting on MGMT (MGMT2005) 2005. 8. 7.
 - 21 Miyazaki K, Koga Y, Kohya N, Kitajima Y: Biliary Tract cancer s progress through epigenetic silencing of MGMT. 15th World Congress of IASG 2005. 9. 7-11.
 - 22 三好 篤, 北島吉彦, 井手貴雄, 宇都義浩, 永沢秀子, 堀 均, 宮崎耕治: 低酸素環境における肝細胞癌の悪性進展獲得機序. 第2回がんとハイポキシア研究会 2005. 3. 12-13. 抄録集: 要旨 3. 2.
 - 23 三好 篤, 北島吉彦, 井手貴雄, 古賀靖大, 宮崎耕治: 低酸素による肝細胞癌の悪性進展獲得機序とその標的治療の可能性. 第91回日本消化器病学会総会 2005. 4. 14-16. 日本消化器病学会雑誌 第102巻 臨時増刊号: A230.
 - 24 三好 篤, 北島吉彦, 井手貴雄, 宮崎耕治: 低酸素環境下における肝細胞癌の悪性形質獲得機序と標的治療の可能性. 第105回日本外科学会定期学術集会 2005. 5. 11-13. 日本外科学会雑誌 第106巻 臨時増刊号: 274.
 - 25 三好 篤, 北島吉彦, 井手貴雄, 宇都義浩, 永沢秀子, 堀 均, 宮崎耕治: 低酸素環境下における肝細胞癌の悪性進展獲得機序. 第17回日本肝胆膵外科学会 2005. 6. 9-10. プログラム: 209.
 - 26 三好 篤, 北島吉彦, 井手貴雄, 大高和真, 宇都義浩, 永沢秀子, 堀 均, 宮崎耕治: 低酸素環境下における肝細胞癌の浸潤能獲得機序. 第64回日本癌学会学術総会 2005. 9. 14-16. 抄録集: 340.
 - 27 中房祐司, 濱本隆浩, 林 裕章, 伊山明宏, 松尾達也, 宮崎耕治: 浸潤性乳管癌の術前乳管内進展診断の検討. 第13回日本乳癌学会総会 2005. 6. 10-11. プログラム抄録集: 175.
 - 28 Nakafusa Y, Tanaka M, Tanaka T, Kitajima Y, Sato S, Miyazaki K: Multivisceral resection for locally advanced colorectal cancer. International Surgical Week 41st World Congress of Surgery of ISS/SIC 2005. 8. 21-25.
 - 29 中房祐司, 三好 篤, 田中雅之, 大塚隆生, 下西智徳, 神谷尚彦, 松山 悟, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 直腸癌リンパ節転移診断の問題点. 第67回日本臨床外科学会総会 2003. 11. 9-11. 日臨外会誌 第66巻 増刊号: 484.
 - 30 大高和真, 北島吉彦, 古賀靖大, 井手貴雄, 佐藤 建, 三好 篤, 宮崎耕治: 大腸癌における MGMT, hMLH1 遺伝子の DNA メチル化の意義. 第105回日本外科学会定期学術集会 2005. 5.

- 11-13. 日本外科学会雑誌 第106巻 臨時増刊号：365.
- 31 大高和真, 佐藤 建, 北島吉彦, 神谷尚彦, 宮崎耕治：ミスマッチ修復遺伝子 hMLH1 発現は, 胆嚢癌細胞に対する CPT-11 感受性を左右する. 第64回日本癌学会学術総会 2005. 9. 14-16. 抄録集：159.
- 32 大高和真, 北島吉彦, 古賀靖大, 井手貴雄, 光野真由美, 神谷尚彦, 中房祐司, 宮崎耕治：大腸癌における MGMT, hMLH1, BNIP3 遺伝子のメチル化解析. 第16回日本消化器癌発生学会総会. 2005. 10. 13-14. プログラム・抄録集：68.
- 33 Ohtsuka T, Liu X-F, Koga Y, Nakafusa Y, Lee SW, Miyazaki K: Methylation-induced silencing of ASC and effect of expressed ASC on P53-mediated chemosensitivity in colorectal cancer. DDW 2005 (AGA) 2005. 5. 5
- 34 大塚隆生, 劉 小方, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治：大腸癌における p53標的遺伝子 ASC の発現抑制の意義および遺伝子治療への応用. 第105回日本外科学会定期学術集会 2005. 5. 11-13. 日本外科学会雑誌 第106巻 臨時増刊号：363.
- 35 大塚隆生, 北原賢二, 松山 悟, 下西智徳, 中房祐司, 宮崎耕治：臍頭十二指腸切除術における臍管再建法の検討および術後臍液漏の危険因子解析. 第17回日本肝胆膵外科学会 2005. 6. 9-10. プログラム：385.
- 36 大塚隆生, 田中雅夫, 山口幸二, 宮崎耕治：臍頭十二指腸切除術後の臍機能の推移及び術後経過への影響. 第22回日本胆膵生理機能研究会 2005. 6. 25. プログラム・抄録集：14.
- 37 大塚隆生, 北原賢二, 松山 悟, 下西智徳, 中房祐司, 宮崎耕治：Billroth I 法およびII法再建臍頭十二指腸切除術の比較. 第60回日本消化器外科学会定期学術総会 2005. 7. 20-22. 日消外会誌 38巻7号：466.
- 38 大塚隆生, 北原賢二, 松山 悟, 下西智徳, 中房祐司, 大谷 響, 綱田誠司, 藤本一眞, 宮崎耕治：傍乳頭総胆管十二指腸瘻の病態と治療. 第70回日本消化器内視鏡学会総会 2005. 10. 5-8. 日本消化器内視鏡学会雑誌 Vol. 47(Suppl. 2) 2005：2062.
- 39 大塚隆生, 三好 篤, 神谷尚彦, 松山 悟, 中房祐司, 宮崎耕治：十二指腸乳頭部癌に対する臍頭十二指腸切除後の成績と問題点. 第67回日本臨床外科学会総会 2005. 11. 9-11. 日臨外会誌 第66巻 増刊号：361.
- 40 佐藤 建, 北島吉彦, 神谷尚彦, 大高和真, 古賀靖大, 宮崎耕治：胆嚢癌に対するミスマッチ修復遺伝子 hMLH1 発現を感受性マーカーとした CPT-11 療法の可能性. 第17回日本肝胆膵外科学会 2005. 6. 9-10. プログラム：W6-3.
- 41 佐藤清治, 松永 尚, 福山 恵, 大高和真, 田中雅之, 宮崎耕治：幽門側胃切除術周術期における immunonutrition の効果. 第20回日本静脈経腸栄養学会 2005. 2. 17-18. 静脈経腸栄養 Vol. 20：148.
- 42 佐藤清治, 松永 尚, 田中雅之, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治：DAO 活性から見た幽門側胃切除術周術期における immunonutrition の効果. 第105回日本外科学会定期学術集会 2005. 5. 11-13. 日本外科学会雑誌 第106巻 臨時増刊号：333.
- 43 佐藤清治, 田中雅之, 徳丸直郎, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治：当科における食道表在癌治療症例の検討. 第60回日本消化器外科学会定期学術総会 2005. 7. 20-22. 日消外会誌 38巻7号：472.

- 44 下西智徳, 佐藤清治, 大塚隆生, 田中雅之, 松山 悟, 濱本隆浩, 北原賢二, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する治療の検討. 第60回日本消化器外科学会定期学術総会 2005. 7. 20-22. 日消外会誌 38巻7号:477.
- 45 田中雅之, 北島吉彦, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: E-cadherin 発現異常を指標とした早期胃癌の sm 浸潤予測の検討. 第77回日本胃癌学会総会 2005. 5. 7-8. Gastric Cancer 総会記事: 203.
- 46 田中雅之, 佐藤清治, 北島吉彦, 湯ノ谷誠二, 中房祐司, 宮崎耕治: 同時性食道癌, 咽頭癌重複症例に対する検討. 第59回日本食道学会学術集会 2005. 6. 30-7. 1. プログラム・抄録集: 228.
- 47 田中雅之, 中房祐司, 濱本隆浩, 下西智徳, 大塚隆生, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 腹腔鏡補助下大腸癌手術の問題点と対策. 第60回日本消化器外科学会定期学術総会 2005. 7. 20-22. 日消外会誌 38巻7号:405.
- 48 田中雅之, 中房祐司, 松山 悟, 下西智徳, 大塚隆生, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 進行・再発大腸癌に対する TS-1/CPT-11 療法の使用経験. 第43回日本癌治療学会総会 2005. 10. 25-27. 日本癌治療学会誌 第40巻2号:OS10-5.
- 49 田中雅之, 中房祐司, 松山 悟, 下西智徳, 大塚隆生, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 進行・再発大腸癌に対する TS-1/CPT-11 併用療法の検討. 第67回日本臨床外科学会総会 2003. 11. 9-11. 日臨外会誌 第66巻 増刊号:597.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	宮崎 耕治	平成17年度科学研究費補助金	基盤研究(B)	消化器癌に対する DNA 修復異常に立脚した治療戦略の構築	1,000
教授	宮崎 耕治 大高 和真	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	がん個別化治療のための新規遺伝子解明	1,500
講師	北島 吉彦	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	早期胃癌におけるヘリコバクターピロリ除菌による Runx-3 メチル化解除効果に関する研究	745
助手	下西 智徳	平成17年度科学研究費補助金	若手研究(B)	肝内胆管癌における多段階発癌に関する病理組織学的検討および胆管癌実験モデルの確立	700
助手	大塚 隆生	平成17年度科学研究費補助金	若手研究(B)	消化器癌における ASC のメチル化抑制の意義および遺伝子治療への応用	1,000
助手	大塚 隆生	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	大腸癌における ASC のメチル化抑制の意義および遺伝子治療への応用	750
助手	神谷 尚彦	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	がん個別化診断・治療のための独自スポット型プロモーターメチレーションマイクロアレイの作製および手法の確立	750